

東京南翔会（秋田南高校同窓会東京支部）の皆様へ

平成 25 年 4 月 1 日
東京南翔会会長
保坂武文

今年は例年になく東京の桜は早く、隅田川の堤沿いの桜は、その美しさを川面に映し春到来を告げています。水面に揺れる桜の花を見つつ、遠い昔のふるさと千秋公園の桜を思い出しています。秋田の春はまだ遠いようですが・・・
東京南翔会の皆様に於かれましては、いかがお過ごしでしょうか？

流れる月日は速く、母校秋田南高校は昨年秋、創立 50 周年を迎えることが出来ました。半世紀にわたり先生たち、教育関係者、同窓会、OB 会皆様の支援や努力に支えられ、今日では数多くの卒業生が日本、海外で活躍されるに至っています。

東京南翔会が大きな節目である創立 50 周年の母校への贈り物として記念事業検討をはじめたのは、3 年前のことでした。色々のアイデアや意見の中で、皆さんで賛同いただいたのは、秋田南高校の強みでもある英語教育をもっと伸ばすお手伝いをしようという思いでした。これからは、グローバルに動く時代、世界が身近に迫ってくる時代、その時代に向けて、秋田から国際人を輩出しよう！そして出来るなら世界のリーダーを育成しよう！願わくは、たとえばいつの日か「国連の長」を秋田南高校卒業生から出したい！その実現には、英語。英語を母国語とする人と渡り合える国際人を育成しよう！そのための英語教育機材、ソフトを母校に寄贈しよう・・・

50 周年記念事業具体案として、母校の後輩たちに生きた英語や異文化を学んでもらうべく、将来は海外姉妹校とも使える母校と他校を結ぶコミュニケーションツール、「テレビ会議システム」、当面は南高校の希望である AIU 国際教養大学に設置寄贈を目標に進めて参りました。この東京南翔会発のアイデアに秋田同窓会菅原会長、同窓会の皆様、にも賛同いただき、秋田&東京支部でそれぞれ募金活動がスタートしました。おかげさまでこの「いつの日か、母校秋田南高校から国際人を！」のコンセプトの英語教育支援を多くの同窓生の皆様にご理解いただき、励ましの言葉と共に多くの募金を得ることが出来ました。改めて秋田東京南翔会の南高校同窓生の皆様に感謝差し上げたいと思います。

また募金活動をサポート頂いた関係者担当者のご尽力にも合わせて感謝申し上げます。

今後、秋田同窓菅原会長から秋田南高校に秋田東京の合同寄付金をお届け致します。

東京南翔会としては同窓生の強い思いとして募金頂いた 1 円単位まで全額寄贈致します。

昨年秋 50 周年式典で先行し秋田南高校にお届けした「目録」の通り、母校に於いて英語教材・教育関連に活用いただく目的に、大いに使用頂きたいと思っております。

次の 100 年に向けて秋田南高校が世界に向けて大きく羽ばたいて行く事を願っております。ありがとうございました。